

令和6年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和6年6月28日（金）15：00～17：00
開催場所	府立吹田高等学校 本館2階 会議室
出席者（委員）	岡崎守夫会長、北波道子副会長、酒井睦美委員、松本光稔委員
出席者（学校）	大川賢司校長、浅尾義和教頭、島田敬三事務長、加藤靖史首席、小澤靖典首席、坂奈々恵教諭
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 令和6年度 使用教科書
備考	

議題等（次第順）
・令和6年度学校経営計画及び学校評価について ・その他
協議内容・承認事項等（意見の概要）
○令和6年度学校経営計画及び学校評価について以下の通り質疑応答・意見交換を行った。 ・塾への広報について 質問：学校の中身をしっかりと整え、それを的確に発信したことが、定員割れを防ぐ力となった。塾などからも推薦していただいているようだが、具体的には何をしているのか。 回答：塾が様々な学校を集めての説明会をしていて、それに参加できるときは参加している。昨年度から塾に訪問して説明をする機会をもうけている。中学生は塾の先生の助言も進路選択に活かしているようだ。 ・生徒による校内案内について 意見：校内散策を生徒が案内するのはとても効果的。同年代の先輩がいうことのほうがわかりやすい。 回答：本校の生徒の成長にもつながっている。一回めでやりがいを感じた生徒が二回目も案内してくれる。 ・私学の無償化に関して中学校長から 意見：私学無償化のあおりからか、小学校6年生から私学に行く割合がとて増えている。入学者数の読みが難しくなっており、蓋を開けたら人数ギリギリということが起こっている。公立中学校でも、私学無償化の影響を感じている。学校の努力が必要だと感じている。 ・大学という進路選択はどのように決めているのか？ 質問：進路選択では色々な進路があるが、学生の希望で100%決めるのか。本来はこっちの進路に行きたいが、変える生徒も多いなどはあるのか。ポテンシャルとして大学に行きたい生徒はもっといるのか。私立大学としては受験者数確保に苦戦している。 回答：学校が誘導することはない。家庭の事情で進路を変える生徒はいても数名程度。今は大学4割弱、専門3割前後。なぜ大学が多くなったかはわからない。学力試験が必要な入試を受けるのは3人に1人、3人に2人は学校生活を頑張っ指定校推薦を活用している。 意見：どこの大学もオープンキャンパスをしている。高校生の間に大学の雰囲気を知っておくのも進路選択の材料になる。

・学校の達成目標の力の入れ具合について

質問：教科指導のところ。基本達成するものだと思うが、すごく高い目標を立てているから、どのぐらいの到達度で達成したいと思っているか。どれを一番達成したいか。

回答：【校長】吹田高校に来て2年。昨年度の評価指標は令和4年度に前の校長が作成したものなので、大幅にリニューアルしている。少しでも維持し、より良くしようとした目標と、ばっさり変えてしまおうとした目標がある。

・授業の見学について

質問：教員間の相互見学週間を年2回という目標にしていることについて。

回答：授業見学週間をもうけ、教科横断的に見学し、授業改善に努めていこうとしている。教務は全体にアナウンスして頑張っていこうとしている。100%達成はしていないがフォーマットはある。

初任者の座談会も計画している。気軽に授業を見学しあう文化を作っていきたい。

質問：中学校のように、保護者が来るオープンスクール（授業参観）はあるのか。

回答：年に1回、土曜の午前に行っているが、参加者は少ない。中学生に向けても実施したいと思っている。

・本校の多様な進路選択について

質問：進路について。1年のときには進路の判断が難しい時期。なにか本人の適性を測る機会はあるのか

回答：思考の仕方を見るようなペーパーテストをした。1,2年は1年に2回は外部の方による説明会や、外に出ていく活動を取り入れている。本校のパンフレットにも説明がのっている。説明会などでは中学生向けに「いま進路決まっていますか」と聞き、「就職や進学が決まっていなかったら、本校がおすすめですよ」と話している。多様な進路に対応できる強みを、イベントの場でもしっかりと打ち出していく。

意見：中学校はキャリア教育に力を入れている。社会の公民でNISAや投資の話をしている。消費者教育が進んでいて、お金に興味を持つ生徒が多い。就職もあれば大学への進路もある、「何ができるか選べる高校」というのは大きなセールスポイントだと感じる。

・本校生徒について地域住民の意見

学校から質問：初めに地域から苦情の話は少ないとおっしゃっていたが、実際のところ大丈夫なのか。

回答：各自治会長と会議をする際、平和な状況という意見。吹田警察との会合もしているが、おおまかに言えば、吹田は大きな事件もなく、比較的平和。大変だが教育は大事と話している。

自転車に関しては事故が多いので要注意。自転車の傘さし運転は、大阪府警も力を入れようとしている。

※令和6年度使用教科書閲覧

次回の会議日程

日時	令和6年11月15日（金）14：30～
会場	府立吹田高等学校 本館2階 会議室